

# 第14号

# 本小の教育「授業研修会」

# 5年互見

## ● 授業スタンダード期 『授業の型づくり』

今回の「リレー方式・互見授業」は、5学年による【单元名】「わり算の世界を広げよう」であります。①スタート（5の1：多嘉山静香）＜1／9時間＞単元のスタートを担当する。そして次は、②次走者（5の2：久高有香子）＜2／9時間＞整数÷小数の計算の仕方を。そして最後、③アンカー（5の3：高良佳子）＜3／9時間＞小数÷小数。バージョンUP 三人の教材研究が、子供達が苦手とする「わり算」を、どう捉えて、どの様に子供達にアプローチし、「学びの世界」を広げていくのか楽しみである。その様子を伝えて行きたいと思う。



■ 5年3組（算数）「高良佳子」先生 5校時 互見授業

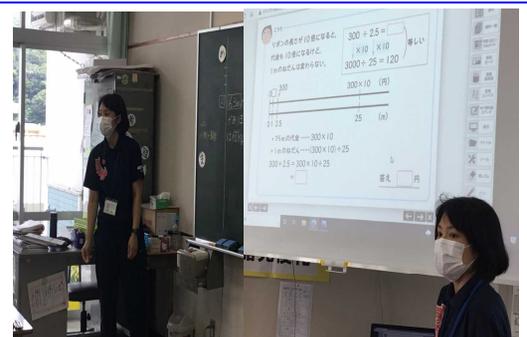
### 【児童の手(学習規律)】



### 【教室の色(支持的風土)】



### 【教師の眼(教師の姿勢)】



### ■ 児童の規律(躰け)(姿勢・態度) ■

- [黙想][良い姿勢][挨拶は、語先後礼]
- 子供の「躰け」が、行き届いている
- 小グループのグループ作りが「理想的」
- 三角▲の座席配置、3名編制、良い
- 発表者、聴く姿勢、学習規律が徹底
- 見る、聴く、考える、書く、けじめ
- 学習規律、支持的風土づくりが良い
- クラスが「安心できる場」となって
- 学び合う、学級雰囲気醸成されて

### ■ 授業プラン・シート(指導観) ■

- [ね] 小数÷小数、除法性質基に思考
- [め] 小数で割る計算は、どのように
- [も] 前時の式「整÷小」を振り返り
- [ふ] わり算の性質使って考える・・・
- [ま] 割る算を整数にする計算できる
- 昨日までの学習と異なるところは？
- 今日の学習は、バージョンUPした
- 小グループ学習はかなり慣れて。(浸透)
- [自力][ペア][全体][個々]の流れ大切

### ■ 教師の姿勢(声かけ)「教師力」 ■

- 「説明」「指示」が明確、分かり易い。
- 「板書」「電子教科書」など提示が良。
- 「タイムマネジメント」計画通り進行
- 「本時のねらい」「めあて」はクリア
- 「教師力」「情熱」「パワフル」、若い
- 「子供との遣り取り」、テンポが良い
- 「板書」と「子のノート」マス異なる
- 「ペア学習」を、頻りに活用している。
- ※「苦手箱」を、多少なり縮小できた。



### 【感想】 「互見授業・リレー方式」(5の3：佳子先生) ..。 本当に有難う ございました。♥

- 「小グループ学習」は、「【学び合い、認め合い、高め合う、Ai-Full Plan】に、繋がっている！」
- 「対話的な」は、授業改善の視点(アクティブ・ラーニング)と、『集合知の力』を期待出来るもの。
- 「対話的な」は、子供同士の協働、教師・地域人等との対話、先哲の考え方を手掛かりに、考えること。
- 「対話的な」は、目的は「自己の考えを広げ深める」であり、ポイントは「自己完結する学習ではない。」
- 「対話的な」は、「会話」ではない。「対話」と「会話」は別物である。話し合いそのものが目的ではない
- 「対話的な」は、対話の質を高めるポイント・対話の目的は、「子どもが自分の考えを広げ深めることだ」
- 「対話的な」は、相違等を踏まえ、「聴く力」「思考力」「判断力」「話す力」などを「見える化」する事。



校長より

